

# 容器包装由来再生樹脂の家電適応実証 ～容器包装プラスチックを、家電へ～

## 1 研究の背景・目的

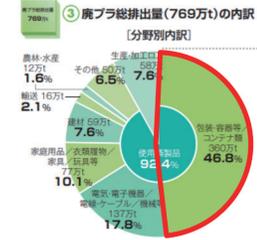
### パナソニックでのプラスチック循環の取組み

パナソニックグループでは「商品から商品へ」をコンセプトに、使い終わった家電から取り出した資源を活用する取組みを推進



### 資源循環の更なる拡大に向けて

国内で大量に消費されている容器包装プラスチックを家電にリサイクル



容器・包装等/コンテナ類  
廃プラ総排出量の46.8%

出典：プラスチック再資源化フロー図（一般社団法人 プラスチック循環利用協会）に追記

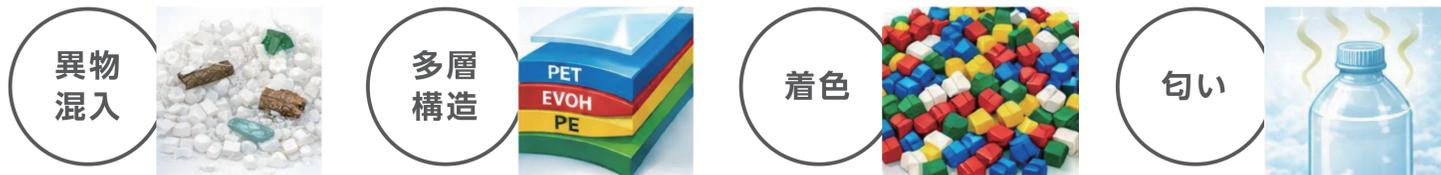
今後のより一層の資源活用を推進するにあたり、

家電由来以外の再生プラスチックを活用する取組みが必要

目的  
新たなリサイクルモデル「容器包装 to 家電」の社会実装を目指す

## 2 課題

容器包装由来の再生プラスチックを家電にリサイクルするには、性能面や安定性の課題が多数



下記の3点の評価・検証を通じて、「容器包装 to 家電」の社会実装に向けて課題解決に取り組めます

### 取組み 1 物性・特性評価

材料組成、物性、匂い成分、外観など



### 取組み 2 改質処方の開発

家電製品に適用可能な改質処方



### 取組み 3 家電製品への適用実証

家電製品部品における成形性等の生産プロセス評価、品質評価



## 3 今後の研究開発計画

材料評価から製品適用評価までを段階的に実証することで、課題解決を図っていきます

